

平成27年度第1回団体連絡会議事次第

1. 日時：平成27年6月18日（木）14：00～16：00

2. 場所：（一社）日本建材・住宅設備産業協会 A・B 会議室

3. 議題

（1）挨拶

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 専務理事 富田 育男…………… 14:00～14:15

（2）講演

①「リフォーム市場活性化のための金融機関と住宅関連事業者の連携に向けて」

経済産業省 製造産業局 住宅産業窯業建材課 課長補佐 志村 典彦 様…………… 14:15～15:00

②「リフォームからみた家庭の省エネエキスパート検定について」

一般財団法人省エネルギーセンター 家庭・地域事業部 都築 巧 様…………… 15:00～15:45

（3）団体会員配布物のお知らせ…………… 15:45～15:55

（4）建産協からの報告・他……………15:55～

平成27年度 団体連絡会の開催スケジュール

・第2回 9月17日（木）14：00～16：00

・第3回 12月15日（火）14：00～16：00

・第4回 3月23日（水）14：00～16：00

（配布資料）

団連27-1-1 平成27年度第1回団体連絡会議事次第

団連27-1-2 「リフォームビジネス拡大に向けた取り組みについて」

「リフォーム市場活性化のための金融機関と住宅関連事業者の連携に向けて」

「リフォーム市場活性化のための金融機関と住宅関連事業者の連携に向けて」概要

団連27-1-3 「リフォームからみた家庭の省エネエキスパート検定について」

（別紙・別冊）

「省エネ・遮熱塗料のタイにおける実証事業成果報告会」

「塗料塗装・最新動向セミナー」

「カラーコーディネーター検定試験サポートセミナー」

「環境色彩提案セミナー」

・第11回「台所・お風呂の川柳」募集！

キッチン・バス工業会

・自然とつくる環境共生住宅シリーズ 第三弾 kkj の『緑の5カ条』を発行

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会

・第60回全国建具組合連合会業者大会 第49回全国建具展示会
「全国建具フェア」ご招待券

全国建具組合連合会

・PVC news No.93

塩化ビニル環境対策協議会

平成27年度第1回団体連絡会開催報告



平成27年6月18日(金)、平成27年度第1回団体連絡会が建産協会議室にて25団体等36名の出席者のもと開催された。

まず富田専務理事の主催者挨拶の後、経済産業省製造産業局住宅産業窯業建材課 課長補佐 志村典彦氏より「リフォーム市場活性化のための金融機関と住宅関連事業者の連携に向けて」、続いて一般財団法人省エネルギーセンター 家庭・地域事業部 都築 巧氏より「リフォームからみた家庭の省エネエキスパート検定」と題する講演があった。その後、団体会員から事業案内があった。

講演1：リフォーム市場活性化のための金融機関と住宅関連事業者の連携に向けて



講師：経済産業省 製造産業局住宅産業窯業建材課

課長補佐 志村典彦氏

1. リフォームビジネス拡大に向けた勉強会
2. リフォーム市場活性化のための金融機関と住宅関連事業者の連携に向けて

冒頭、昨年5月に公表された「リフォームビジネス拡大に向けた勉強会」の概要が説明され、住宅リフォーム市場が抱える課題への対応策や、社会ニーズに対応したリフォーム市場拡大の方向性が例示された。トピックスとして、優良な事業者の「見える化」と普及広報の推進について、昨年度は三大都市圏を対象に先進的なリフォーム事業者21者を選定・表彰のうえ、事業者の取組事例をベストプラクティス集として公表したことが説明された。

続いて、「リフォーム市場活性化のための金融機関と住宅関連事業者の連携」について説明があった。木造戸建中古住宅の流通において新築住宅と比較した場合、提供される金融機関のローンの提供が十分ではないこと。その理由として、築後20～25年で建物の市場がゼロとみなされており、中古住宅の建物価値を汎用的に評価できていないことが挙げられ、金融支援スキームの実施に向けてワーキンググループを立ち上げたことが説明された。

このワーキングでは、リフォーム市場活性化のために、事業者間の連携により建物の価値向上につながる大規模なリフォームを促進させる仕組みや、これに対応した住宅の維持管理を評価した金融商品やサービスのあり方、住宅の建材・設備の価値を評価する考え方が紹介された。

最後に、本内容は今年度も引き続き検討していくことが報告された。

講演2：リフォームからみた家庭の省エネエキスパート検定



講師：一般財団法人省エネルギーセンター 家庭・地域事業部 都築 巧 氏

1. 住宅の省エネルギー
2. エネルギーの基礎と家庭の省エネ
3. 機器による省エネルギー

同センターで例年実施している「家庭の省エネエキスパート検定」について、検定制度の概要とリフォーム視点からの省エネルギーに関する解説をされた。

家庭の省エネルギーの基本コンセプトとして、「省エネルギー行動を実践する」、「住宅の省エネルギー性能を高める」、「省エネルギー性能が高い機器を使う」の3つの要素を示し、家庭の省エネルギーは法的拘束力や我慢するといったものではなく、生活行動を制限せずにエネルギー消費量を軽減させる取り組み方を示された。

住宅の省エネルギー対策については、新築、既存、戸建、共同の4分類での把握を重要とし、既存住宅の省エネ基準の割合を示し、省エネ基準の向上が望まれると説かれた。リフォームの種類については、改修型、空間改善型、性能向上型の3つを挙げ、実際にはこれらを複数選択して実施することが多いが、その際に省エネルギーリフォームを取り入れる考え方が必要であるとした。

さらに、天井裏・壁・床下・開口部・ドアなど部位毎の省エネルギーリフォームの方法を例示された。居住者の健康と断熱性能にも触れ、断熱性の低い住居では居室と浴室での温度差によるヒートショックの危険性を示し、省エネルギーリフォームによる断熱性向上の必要性を説かれた。

併せて、家庭におけるエネルギーに関する基礎的な事項を解説し、例えば着衣や食など暮らしに関連する場面別のデータを示すなど、各家庭での省エネルギーの進め方をあげられた。また、節水や再生可能エネルギーなど環境に関わる事項を取り上げたうえで、家電製品や設備機器の上手な活用による省エネルギー効果を示すなど、家庭における省エネルギー対策の重要性を示された。

団体会員からの事業案内



一般社団法人日本塗料工業会 若林英樹氏

- ・省エネ・遮熱塗料のタイにおける実証事業成果報告会について
- ・各種セミナーについて



谷石幸子氏



大山里奈氏

一般社団法人環境共生住宅推進協議会 谷石幸子氏

大山里奈氏

・自然とつくる環境共生住宅シリーズ第三弾 **kkj** の「緑の 5 カ条」を発行

kkj の「緑の 5 カ条」

その1. 緑をつなげ、緑でしきる
緑を上手に配置しよう！

その2. 緑で微気候を調整する
緑で毎日を快適に過ごそう！

その3. 緑のスクリーンを張る
ホコリや騒音を防ごう！

その4. 緑を愛でて暮らす
自然を身近に楽しむ工夫をしよう！

その5. 緑を健やかに守り育む
緑の力と魅力を最大限に引き出そう！

建産協からの報告・他

- ・平成 27 年度団体連絡会の開催予定日時
- 第 2 回 9 月 17 日(木) 14 : 00~16 : 00
- 第 3 回 12 月 15 日(火) 14 : 00~16 : 00
- 第 4 回 3 月 23 日(水) 14 : 00~16 : 00

(※建産協ホームページ内の会員専用コーナーより関連資料がご覧いただけます。)